# ２０２５年度

# 編　　入　　学
# 入学者選抜要項

■　学部・学科の「入学者受入れの方針」は、本学公式サイトならびに「入試ガイド」に掲載していますので、出願時に必ず確認してください。

■　この「入学者選抜要項」には、出願から入学手続までのすべての事項が記載してありますので、よく読んで手続きに間違いのないよう十分に注意してください。

■　本冊子の記載内容に変更が生じた場合や自然災害等の特別措置が生じた場合は、本学入試情報サイトで随時お知らせします。

大阪学院大学

■ 目次

**入学者受入れの方針** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １

**概要**
入試日程一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
個人情報の取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
募集人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
出願資格 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３

**編入学年次・単位認定**
編入学年次・単位認定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３

**選抜内容・選抜方法**
選抜内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
選抜方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４

**出願**
出願から合格発表までの流れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
出願書類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
マイページの登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
インターネット出願登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６
登録内容に誤りがある場合の対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
入学検定料の支払い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
出願書類の郵送 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８
「志願票」「宛名ラベル」が印刷できない場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８
受験票 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８
試験日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８
合格発表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８

**入学手続**
入学手続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９

**その他**
在留カードの更新 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
入学辞退 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
入学金・学費および諸会費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０

問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１

小論文の内容・キーワード　Ａ日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２
　　〃　　Ｂ日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４

よくある質問 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６
試験会場案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７

＊　志望理由書
＊　単位認定申請書

# 入学者受入れの方針

| 建 学 の 精 神 | 本学は、教育と学術の研究を通じ、広く一般社会に貢献し、<br>且つ人類の福祉と平和に寄与する視野の広い実践的な人材の育成を目的とする。 |
|---|---|

大阪学院大学は、建学の精神に基づき、社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。
各学部・学科が掲げる教育目的達成のための「入学者受入れの方針」は、本学公式サイトならびに「入試ガイド」に掲載していますので、出願時に必ず確認してください。

なお、各学部が定める教育目標、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針は本学公式サイトに掲載しています。志望学部の内容を十分に理解のうえ、出願してください。

## ■ 入試日程一覧

日程の内容については、各項目で詳しく説明しています。

| 内　　容 | Ａ　日　程 | Ｂ　日　程 |
|---|---|---|
| 出願期間 | １１月 １８日（月）　～　１１月 ２７日（水） | 1月 ３１日（金）　～　2月 １１日（火） |
| 受験票公開期間 | １２月　４日（水）　～　１２月　７日（土） | 2月 １８日（火）　～　2月 ２２日（土） |
| 試験日 | １２月　７日（土） | 2月 ２２日（土） |
| 合格発表期間 | １２月 １２日（木）　～　１２月 １４日（土） | 2月　28日（金）　～　3月　3日（月） |
| 入学手続１次締切日 | １２月 ２０日（金） | ３月 １２日（水） |
| 入学手続２次締切日 | １月 １４日（火） | |

## ■ 注意事項

### 出願時

１．出願の内容などを確認するために電話、またはメールで連絡を行う場合があります。志願者の電話番号およびメールアドレスは、本学からの連絡を受けることが可能なものを登録してください。
２．志願者が連絡に応答しない等のために出願の内容などを確認できなかった場合には、出願を受け付けません。
３．提出された出願書類は返還しません。
４．場合により健康診断書の提出を求めることがあります。
５．出願後の学部・学科などの変更は認めません。
６．入学検定料の納入の確認および出願書類の受理後、出願資格の確認を行います。確認の結果、出願資格が認められない場合は受験できません。
７．合格発表後に虚偽等が発覚した場合は、合格および入学の資格を取消します。
８．出願書類の作成において生成ＡＩ（ChatGPTなど）を用いてはいけません。

### 障がい等のある方の受験

受験上の配慮や入学後の学修にもかかわりますので、出願に先立ち、余裕を持って必ず、入試広報課に相談してください。ただし、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。また、出願後の不慮の事故による負傷者や疾病者で受験時に特別な配慮等を希望される場合は、速やかに入試広報課に相談してください。

**受験時の注意**

〔試験室着席まで〕

１．試験当日は、受験票を持参してください。
２．受験票を紛失または忘れた場合は、速やかに試験会場入口の担当者、もしくは監督者まで申し出てください。
３．受験上の諸注意を行いますので、試験開始時刻の３０分前（集合時刻）までに入室してください。
４．自動車・オートバイ・自転車での来場は禁止しています。公共の交通機関を利用してください。
５．**試験開始後３０分以上遅刻した場合は受験できません。**
６．試験会場では「受験番号」に従って着席してください。
７．受験票は机上番号の手前に「受験番号」が見えるように置いてください。

〔試験室着席から〕

１．机上には受験票、筆記用具、時計以外は置かないでください。
　辞書・電卓・スマートウォッチ・スマートグラス等のウェアラブル端末や、それらの機能の有無が判別しづらいもの、キッチンタイマー、大型のものなどは時計として使用できません。
２．携帯電話等の電子機器類は電源を切り、保管方法については監督者の指示に従ってください。
３．試験開始後の途中退出は認めません。体調不良等の場合は監督者に申し出てください。
４．試験中に、日常的な生活騒音（緊急自動車のサイレン、空調機器などの運転音、雷や風の音など）が発生した場合でも、特別な救済措置はとりません。
５．試験会場ではすべて監督者の指示に従ってください。

〔不正行為〕

次のいずれかに該当する場合は不正行為とみなします。試験の中止を命じ当該年度のすべての試験を無効とし、今後の受験も認めません。また入学検定料の返還も行いません。

１．出願書類や出願条件に虚偽があった場合。
２．志願者以外の者が本人になりすまして受験をした場合。
３．監督者の指示に従わなかった場合。
４．試験中、許可を得ていない用具を机上に置くなど使用した場合。
５．試験中、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス等のウェアラブル端末を身に着けていた場合。
６．試験中、他の受験者の迷惑となるような行為をした場合。
７．その他、試験の公平性を損なうような行為をした場合。

〔その他〕

昼食が必要な場合は持参してください（学内食堂は営業していません）。

**感染症（新型コロナウイルスやインフルエンザ等）の対応**

出願後、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルスやインフルエンザ等）に罹患し、治癒していない者や、他者への感染の恐れがある者は、必ず試験開始時刻までに入試広報課まで電話にてご連絡のうえ、受験をご遠慮ください。他の日程への振替などの対応を行います。

無連絡または試験開始後の連絡の場合は、欠席扱いとなり、入学検定料の返還または振替は行いません。詳しくは事前に入試広報課まで電話にてお問い合わせください。

■ **個人情報の取り扱い**

１．利用目的
　出願および入学手続にあたってご登録いただいた個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続とこれらに付随する業務で利用します。
２．取り扱い方針
　（1）ご登録いただいた個人情報は厳重に取り扱います。また、上記「利用目的」以外には一切利用しません。
　（2）ご登録いただいた個人情報の取り扱いを外部に委託する場合があります。その場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、厳重な管理を実施させます。

## ■ 募集人員

| 学　　部 | 学　　科 | 募 集 人 員 |
|---|---|---|
| 商学部 | 商学科 | 若 干 名<br>（A 日程・B 日程とも） |
| 経営学部 | 経営学科 | |
| | ホスピタリティ経営学科 | |
| 経済学部 | 経済学科 | |
| 法学部 | 法学科 | |
| 外国語学部 | 英語学科 | |
| 国際学部 | 国際学科 | |
| 情報学部 | 情報学科 | |

## ■ 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

1．日本の大学を卒業した者および２０２５年３月卒業見込みの者。
2．日本の短期大学、高等専門学校を卒業した者および２０２５年３月卒業見込みの者。
3．本学以外の日本の大学に2年以上在学し、６２単位以上修得した者および２０２５年３月をもって修得見込みの者。
4．専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること。その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者および２０２５年３月修了見込みの者。

## ■ 編入学年次・単位認定

他の大学または短期大学において修得した単位（科目等履修による単位修得を含む）および文部科学大臣が定める、大学以外の教育施設において既に修得した単位が、本学においてどの分野に該当するかを確認のうえ、編入学後に本学の単位として認定します。

1．編入学年次は、全学部とも**3年次**です。
2．共通科目・専攻科目および演習科目を最大で62単位認定します。
3．単位認定のため、次の必要書類を出願書類と併せて提出してください（詳しくは「出願書類」５ページを参照）。
　（1）　すでに卒業（修了）している場合
　　「卒業証明書」「成績証明書（単位数が明記されているもの）」「シラバス」
　（2）　卒業（修了）見込みの場合
　　「卒業見込証明書」「成績証明書（単位数が明記されているもの、現在の履修状況がわかるもの）」「シラバス」
　（3）　大学に2年以上在学している場合
　　「在学証明書（年次が明記されているもの）」「成績証明書（単位数が明記されているもの、現在の履修状況がわかるもの）」「シラバス」
　＊　**シラバス（講義要項）（コピー可）は在籍中に履修し合格（履修中を含む）したすべての授業科目を提出してください。**
　＊　合格（履修中を含む）した科目のシラバス（講義要項）が提出されていない科目は、単位認定の審査を行いません。
　＊　編入学後、**教職課程を受講する場合**は「学力に関する証明書」が「シラバス（講義要項）」と併せて必要です。単位修得状況・時間割編成によっては、卒業時までに教員免許状が取得できない場合があります。
4．修得した授業科目の内容に応じて単位認定を行うため、3年次編入学が許可されても、本学の卒業要件を満たすためには**在学年数を延長**しなければならない場合があります。
5．次の学部・学科のコースは、編入学年次（３年次）から**選択ができません**。

| 学 部 ・ 学 科 | 選択できないコース |
|---|---|
| 経営学部 経営学科 | グローバル管理者育成コース |
| 経済学部 経済学科 | グローバル・エコノミーコース<br>スポーツ経済コース |

## ■ 選抜内容

1．小論文の内容については「小論文の内容・キーワード」（Ａ日程：１２・１３ページ、Ｂ日程：１４・１５ページ）を参照してください。

2．面接は、教員２名による個人面接を実施し、出願書類に基づき、小論文の内容ならびに志望理由、本学での学修目標、将来の目標などを１０分程度で審査します。

| 選　抜　内　容 | 試　験　時　間 |
|---|---|
| 小　　論　　文 | １０時００分　～　１１時００分 |
| 面　　接 | １１時３０分　～ |

## ■ 選抜方法

小論文ならびに出願書類に基づき面接を行い「基礎的知識・能力・意欲・適性等」を多面的・総合的に評価して判定します。

## ■ 出願から合格発表までの流れ

### 1　出願書類の準備

入試制度の内容を確認

〔準備する書類・印刷する書類〕
- 入学者選抜要項
- 志望理由書
- 卒業証明書等
- 成績証明書
- シラバス
- 単位認定申請書

「出願登録」前に準備が必要

### 2　マイページに登録

大阪学院大学　入試情報サイトの「マイページ」に志願者の住所、氏名、メールアドレス、写真を登録

出願期間の前から登録が可能

### 3　インターネット出願登録

出願期間に志望学部・学科を登録

出願期間のみ登録が可能

### 4　出願書類の印刷

志願票、宛名ラベルを印刷

〔印刷する書類〕
- 志願票
- 宛名ラベル

「マイページ」から印刷

### 5　入学検定料の支払い

出願登録完了の画面にある検定料支払いサイトで入学検定料の支払方法を確認して支払い

コンビニ、ＡＴＭ、クレジットカード等で出願書類の郵送前に支払い

### 6　出願書類の郵送

出願に必要な書類を郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送

出願最終日の消印有効

### 7　受験票

公開期間内に「マイページ」から受験票を印刷

〔印刷する書類〕
- 受験票

「マイページ」から印刷

### 8　受験

入学者選抜要項・受験票で試験内容、時間、試験会場、志望学部・学科などを確認、受験票を持参して受験

試験内容、時間、試験会場
志望学部・学科などを確認

### 9　合格発表

公開期間内に合格速報を入試情報サイトで参照（合否通知を併せて郵送します）

合格者は１次と２次の手続きを確認

単位認定に必要な書類を確認

合格発表日から３日間
入試情報サイトで参照

■ **出願書類**

1．出願書類に不備がある場合、出願を受理することはできません。
2．項目の右に「事前準備」の表示がある書類は、作成に時間がかかる場合もあるため、インターネット出願登録の前に準備してください。
3．「志願票」はインターネット出願で登録した後、「マイページ」から印刷できます。
4．書類の印刷は、Ａ４用紙（白色、たて、カラー・白黒どちらも可、縮小なし）で行ってください。
5．出願書類の郵送に必要な「宛名ラベル」を「マイページ」から印刷してください。

| | | |
|---|---|---|
| 志　願　票 | ➢ 出願登録した後、「マイページ」から印刷し、提出してください。 | マイページ |
| 志望理由書 | ➢ 添付の用紙に大阪学院大学の志望学部・学科を選んだ理由と入学後の目標を１０００字以内で表現し提出してください。 | 事前準備 |
| 卒業証明書等 | ➢ 卒業（修了）している者は、「卒業証明書」を提出してください。<br>➢ 卒業（修了）見込みの者は、「卒業見込証明書」を提出してください。<br>➢ 大学の2年以上に在学している者は、「在学証明書」（年次が明記されているもの）を提出してください。 | 事前準備 |
| 成績証明書 | ➢ 単位数が明記されているものを提出してください。<br>➢ 大学の2年以上に在学している者は、単位数が明記されているもの、現在の履修状況がわかるものを提出してください。 | 事前準備 |
| シラバス（講義要項） | ➢ 合格（履修中を含む）したすべての授業科目の「シラバス（講義要項）」（コピー可）を提出してください。 | 事前準備 |
| 単位認定申請書 | ➢ 添付の「単位認定申請書」に必要事項を記入のうえ、提出してください。 | 事前準備 |
| 学力に関する証明書 | ➢ 編入学後、教職課程を受講する場合は、「シラバス（講義要項）」と併せて提出してください。 | 事前準備 |

＊　「卒業証明書等」「成績証明書」「シラバス（講義要項）」「単位認定申請書」は、入学後の単位認定に使用します。
＊　卒業（修了）見込みの者、および大学に2年以上在学している者は、編入学試験に合格した後、**成績が確定次第**、最終の「成績証明書」（教職課程を受講する者は「学力に関する証明書」）を再度提出してください。

■ **マイページの登録**

出願登録の前にインターネット出願サイトの「マイページ」に氏名などの個人情報を登録してください。
「マイページ」は**出願期間の前から**登録が可能です（登録開始は９月１日を予定）。

1．登録前の確認
以下の３点を確認してください。
（1）インターネットに接続可能なパソコン、タブレットなどの環境
（2）出願者本人のメールアドレス
＊　出願内容の問い合わせを行う場合があります。
＊　迷惑メール設定をしている場合は、送信元「@52school.com」から受信できるように設定してください。
（3）Ａ４サイズの印刷ができるプリンター環境
＊　自宅にない場合は、ネットプリントの利用、もしくは所属する学校に相談してください。

2．「マイページ」の初回登録
本学公式サイトから**入試情報サイト**に接続してください。
（1）「インターネット出願登録」を選択します。
（2）画面にある「マイページ」を選択、「マイページを初めてご登録の方」から登録のためのメールアドレスを入力、仮登録してください。
（3）仮登録で入力したメールアドレスに、本登録のメールが届きます。
（4）本登録のメールの案内に従い「マイページ」の登録を行ってください。

3．「マイページ」に基本情報の登録

（1）「マイページ」にログイン、出願者本人の氏名や住所など「基本情報」を登録してください。

＊　システムの都合で入力が出来ない漢字は、簡単な漢字、略字等に置き換えてください。

＊　**「出身学校等」は「その他の学校」入力し、「課程」は「高校以外」、「学科」は「その他の学校」を選択してください。**

＊　出身学校の名称は、提出書類に基づき入試広報課が修正します。

（2）基本情報に登録した内容は、出願時に使用する「個人情報」となります。

＊　基本情報に登録した内容の変更は可能ですが、出願登録を完了した後は出願情報には反映されません。

＊　出願登録の後に変更が必要となった場合は、「登録内容に誤りがある場合の対応」（7ページ）を参照してください。

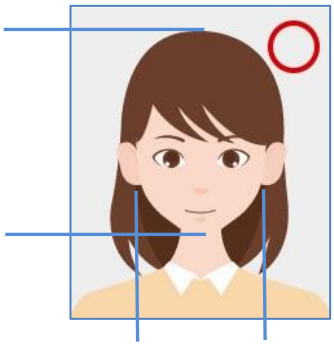
4．「マイページ」に写真を登録

証明写真機（写真データのダウンロードや取得ができるもの）、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等で撮影した「写真」を準備の上、登録を行ってください。

| 写真データの条件 | 使用できないもの |
|---|---|
| ➢ 出願前３カ月以内に撮影<br>➢ カラー写真、上半身・正面、無帽、背景なし（白／青／グレーを基調とした無地）・枠なし<br>➢ 写真サイズは、100KB 以上、5MB 以下<br>➢ 写真データ形式は「ＪＰＧ／ＰＮＧ」のいずれか | ➢ 白黒写真<br>➢ スナップ写真<br>➢ 髪が目にかかっている<br>➢ 個人が特定し難い<br>➢ 不鮮明 |

＊　**入学後、学生証用として卒業まで使用します。**

【適切な写真の例】



〇 頭部の大きさが適切（上図線内）
〇 前髪、横髪で目と眉を隠さない
〇 眉、目元、顔の輪郭が鮮明

【不適切な写真の例】

その他
✕ **証明写真を撮影したもの**
✕ 自撮り写真など画像が反転したもの
✕ アプリ等で顔等を加工したもの
✕ 画質が粗いもの

■ **インターネット出願登録**

1．入試情報サイト「インターネット出願登録」から「マイページ」にログイン、「出願登録」を選択した後、「入試制度の選択」で **編入学（一般）** を選択してください。

2．「志望学部・学科」で志望する学部・学科を選択してください。

3．出願登録の終了後に「マイページ」の「出願確認」から「志願票」と「宛名ラベル」を印刷してください。

＊　「志願票」「宛名ラベル」が印刷できない場合は、『「志願票」「宛名ラベル」が印刷できない場合』（8ページ）を参照してください。

| 日　程 | 出　願　期　間 |
|---|---|
| Ａ日程 | １１月 １８日（月）　９時００分　～　１１月 ２７日（水）　２０時００分 |
| Ｂ日程 | １月 ３１日（金）　９時００分　～　２月 １１日（火）　２０時００分 |

＊　24時間アクセス可能ですが、初日のみ９時００分から、最終日は２０時００分までです。

＊　入学検定料の支払いが可能な時間は、「入学検定料の支払い」（7ページ）を参照してください。

■ **登録内容に誤りがある場合の対応**

入学検定料の支払い状況により対応が異なります。

1．入学検定料支払い前

（1） 入試制度、志望学部・学科の登録を誤った場合、新規登録で正しい内容の「出願登録」を行ってください。

＊ 誤って登録した内容は、入学検定料の支払い期限を過ぎると無効となるため、キャンセル処理等は不要です。

（2） 基本情報（氏名、生年月日、出身校名、住所など）は、「出願登録」の前に「マイページ」の「基本情報」を訂正してください。

（3） 訂正後の「志願票」を郵送してください。訂正前の「志願票」を郵送した場合は、入試広報課までご連絡ください。

2．入学検定料支払い後

（1） 入試制度、志望学部・学科の登録を誤った場合、変更や訂正は行えませんので、入試広報課までご連絡ください。

（2） 基本情報（氏名、生年月日、出身校名、住所など）を訂正する場合、印刷した「志願票」の訂正箇所に二重線を引き（訂正印は不要）、赤色の筆記用具で余白に訂正の内容を記入のうえ、郵送してください。

＊ 「マイページ」の「基本情報」は訂正できますが、「出願登録」に反映されません。

■ **入学検定料の支払い**

入学検定料は、インターネット出願登録後、画面の指示に従い、支払いサイトのURLからコンビニエンスストア、ペイジー（「Pay-easy」のマークのある金融機関のATM）、クレジットカード、ネットバンキングのいずれかの方法を選択のうえ、支払ってください。

| | |
|---|---|
| 入学検定料 | ３０,０００円 |

1．入学検定料をコンビニエンスストア、ペイジーで振り込む場合は、**出願登録した日の翌日の２３時５９分（最終日は、出願登録した当日の２３時５９分）まで**に振り込んでください。この期間を過ぎると出願登録が無効となります。その場合は、出願期間内であれば、出願登録からやり直してください。

＊ コンビニエンスストアもしくはペイジーを選択した場合、使用する機関で必要な**「払込番号」等の番号が必要**になりますので、メモ等してください。

＊ 使用するコンビニエンスストアにより、必要な「払込番号」等の名称と内容が異なります。

2．クレジットカード、ネットバンキングでの振り込みは、出願登録と同時に決済となります。

＊ カード番号などの「登録」ボタンは一度だけクリックしてください。二度以上クリックすると、重複して請求される場合があります。

3．入学検定料の支払い後に出願登録の内容を変更することはできません。

4．入学検定料のほかに別途サービス利用料がかかり、利用者の負担となります。

5．支払いの際に受け取られた領収書等は、提出の必要はありませんが、試験終了まで保管してください（本学から領収書の発行は行いません）。

**入学検定料返還**

出願が受理されている場合、試験を欠席した場合でも入学検定料は返還しません。

ただし、次の場合に限り、入学検定料を返還します。

1．入学検定料を払い込み、出願書類を郵送したが、内容等の不備により、出願が受理されなかった場合。

2．感染症（新型コロナウイルスやインフルエンザ等）に罹患、もしくは罹患した疑いがあり、受験できず、かつ振り替え対応でも受験できなかった場合（無連絡または試験開始後の連絡の場合は、欠席扱いとなり、入学検定料の返還は行いません）。

■ **出願書類の郵送**

市販の角形２号（Ａ４）サイズの封筒の表に必要事項を記入した「宛名ラベル」を貼り付け、出願書類を折り曲げずに封入し、郵便局の窓口から簡易書留・速達（出願最終日の消印有効）で郵送してください。
本学が出願書類を受領し、内容を確認したうえで不備等がなければ、出願受付が完了します。

■ **「志願票」「宛名ラベル」が印刷できない場合**

１．Ａ４用紙に次の項目を転記してください。
「入試制度」「志望学部・学科」「整理番号」「氏名」「住所」「電話番号」「生年月日」
２．市販の角形２号（Ａ４）サイズの封筒の表に次の住所と「出願書類　在中」を記入し、封筒の裏には志願者の住所と氏名を記入してください。
送付先：〒564-8511　大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号　大阪学院大学　入試広報課 行
３．２．の封筒に１．の転記した紙と「出願書類」を入れ、出願期間内に郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

■ **受験票**

受験票は、次の期間に「マイページ」の「オンライン受験票」でダウンロードできます。
１．試験日ごとに１枚印刷してください。
２．不正行為の防止のため、一切の書き込みを禁止します（裏面含む）。
３．受験票の内容（入試制度、試験日、試験会場、志望学部・学科など）を確認のうえ、試験日に持参してください。
４．受験票に記載された内容以外での受験はできません。
５．受験票には合格速報を参照するためのパスワードが記載されていますので、試験後も大切に保管してください。

| 日　程 | 受 験 票 公 開 期 間 |
|---|---|
| Ａ日程 | １２月　４日（水）**１６時００分**　～　１２月　７日（土）**１０時００分** |
| Ｂ日程 | ２月 １８日（火）**１６時００分**　～　２月 ２２日（土）**１０時００分** |

＊　24時間アクセス可能ですが、初日のみ１６時００分から、最終日は１０時００分までです。

■ **試験日程**

試験会場および集合時刻等（試験会場案内は１７ページを参照）

| 日　程 | 試　験　日 | 試験会場 | 入場開始時刻 | 集合時刻 | 試験開始時刻 |
|---|---|---|---|---|---|
| Ａ日程 | １２月　７日（土） | 大阪学院大学 | ８時４５分 | ９時３０分 | １０時００分 |
| Ｂ日程 | ２月 ２２日（土） | | | | |

■ **合格発表**

合格発表日から３日間（日曜のぞく）、合格速報として入試情報サイト「合格速報」で合格者の受験番号を発表します。合格速報を参照するには**受験票に記載のパスワード**を入力してください（本学公式サイトから入試情報サイトに接続してください）。
併せて、合格発表日の初日に合否の通知を速達で発送する予定です（合格者には入学手続書類を同封）。

| 日　程 | 合 格 発 表 期 間 |
|---|---|
| Ａ日程 | １２月 １２日（木）**１０時００分**　～　１２月 １４日（土）**１５時００分** |
| Ｂ日程 | ２月 ２８日（金）**１０時００分**　～　３月　３日（月）**１５時００分** |

＊　24 時間アクセス可能ですが、初日のみ１０時００分から、最終日は１５時００分までです。
＊　合否通知は合格発表期間の初日に発送するため、地域によって到着日が異なります。
＊　学内掲示による発表は行いません。また、電話などによる合否の照会には一切応じません。

■ **入学手続**

合格者は次の入学手続締切日までに入学金・学費および諸会費を納付し、入学手続書類を提出してください（詳しい案内は合格通知に同封します）。

| 日　程 | １次締切日<br>入学金 | ２次締切日<br>学費および諸会費<br>入学手続書類 |
|---|---|---|
| A日程 | １２月 ２０日（金） | １月 １４日（火） |
| B日程 | ３月 １２日（水） | |

１．１次締切

期日までに**入学金（２００,０００円）**を合格通知に同封されている納付書を使用し、銀行の窓口から納付してください。

２．２次締切

（１）期日までに**学費および諸会費**を合格通知に同封されている納付書を使用し、次のいずれかの方法で銀行の窓口から納付してください。

①　初年度年額を一括して納付する方法。

②　初年度前期分を納付する方法（後期分は２０２５年１０月に納付してください）。

（２）期日までに**入学手続書類**（詳しい案内は合格通知に同封）を郵送してください（消印有効）。

３．B日程については、締切日までに入学金・学費および諸会費を納付し、入学手続書類を提出してください（詳しい案内は合格通知に同封します）。

４．入学手続上の注意事項

（１）入学手続書類のうち次の書類は、入手でき次第、**早急**に合格通知に同封の封筒で郵送してください。

| 区　分 | 提出が必要な書類 |
|---|---|
| 既に卒業（修了）している者 | ➢ 出願書類として提出された「卒業証明書」を流用するため、提出は必要ありません。 |
| 卒業（修了）見込みの者 | ➢ 卒業式後に出身学校から「**卒業証明書**」の発行を受け、提出してください。 |
| 大学に２年以上在学している者 | ➢ 出身学校から「**退学証明書**」の発行を受け、提出してください。 |

（２）**締切日までに手続きを完了しない場合は、入学を許可しません。**

（３）１次締切日までに入学金を納付した後、２次締切日までに学費および諸会費を納付しなかった、もしくは入学手続書類を提出しなかった場合、入学を許可しません。この場合、入学金は返還しません。

（４）合格者で入学手続きが完了している場合でも、**卒業予定であった教育機関を２０２５年３月３１日までに卒業とならなかった者もしくは所定単位の修得ができなかった者は、入学許可を取り消します。**

■ **在留カードの更新**（在留カードを所有している入学予定者）

在留カードの有効期限が４月末までとなっている場合は、在留期限の延長申請に必要な「入学許可書・在留期間更新申請書（所属機関等作成）」を発行しますので、各自で在留期限の延長申請を行ってください。

１．書類の発行には、入学金（１次）と学費ならびに諸会費（２次）を納入し、必要書類（卒業証明書を除く）を提出している必要があります。

２．書類の発行が必要な場合は、２次の締切日以降「入学許可書発行願」を入試広報課に提出してください。

＊　**「入学許可書発行願」は、入試情報サイト「入学手続書類・合格後の住所変更・在留カードの更新」からダウンロードできます。**

＊　更新後の在留カードのコピー（両面）を新入生オリエンテーションの際に学生課に提出してください。

■ **入学辞退**

入学手続を完了した後に、やむを得ず入学辞退をする場合は、**２０２５年３月３１日（月）17時まで**に本学所定の「入学辞退届」を入試広報課に来学もしくは電話で請求（メールでの請求は受付けません）のうえ、提出してください（**期日必着**）。期日までに「入学辞退届」を提出した場合に限り、入学金を除く学費および諸会費を返還します。

## ■ 入学金・学費および諸会費

1．全学部・学科共通事項

（1） ２０２５年度生の入学金･学費および諸会費を示しています。

（2） １年間の学費･諸会費は、前期・後期に分けて納付することができます。

（3） 受講する科目によっては、別途実習費等が必要となる場合があります。

2．大学

（1） 商学部、経営学部、経済学部、法学部、外国語学部、国際学部 （円）

| 学年 / 種別 学期 | | 編入学年度（３年次） | | ４年次 | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 入学金 | | 200,000 | - | - | - | 200,000 |
| 学費 | 授業料 | 464,000 | 464,000 | 464,000 | 464,000 | 1,856,000 |
| | 施設設備費 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 400,000 |
| 諸会費 | 学友会入会金等 ＊ | 3,430 | - | - | - | 3,430 |
| | 学友会費 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 8,000 |
| | 後援会入会金 | 5,000 | - | - | - | 5,000 |
| | 後援会費 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 16,000 |
| | 卒業記念品費 | - | - | 19,500 | - | 19,500 |
| | 校友会費 | - | - | 15,000 | 15,000 | 30,000 |
| 合計 | | 778,430 | 570,000 | 604,500 | 585,000 | 2,537,930 |
| 年間合計 | | 1,348,430 | | 1,189,500 | | |

＊ 学友会入会金１,０００円と保険料２,４３０円（２年間分）の合計。

（2） 情報学部（単位制授業料制度）

【単位制授業料制度について】

① 授業料が固定費と単位制分（１単位８,０００円）に分かれています。

② 表中 の「単位制分（１単位８,０００円）」の授業料は、履修登録後（入学後）に徴収します。

③ 履修登録単位数に応じて各自納入金が異なります。

④ 卒業に必要な単位は４年間で１２４単位です。３・４年次の履修登録可能な単位数はそれぞれ４８単位です。

〔3・4年次で４８単位ずつ履修登録した場合の学費の一例〕 （円）

| 学年 / 種別 学期 | | | 編入学年度（３年次） | | ４年次 | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 入学金 | | | 200,000 | - | - | - | 200,000 |
| 学費 | 授業料 | 固定費 | 355,000 | 355,000 | 355,000 | 355,000 | 1,420,000 |
| | | 単位制 | 192,000 | 192,000 | 192,000 | 192,000 | 768,000 |
| | | <単位数> | <24 単位> | <24 単位> | <24 単位> | <24 単位> | <96 単位> |
| | 施設設備費 | | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 100,000 | 400,000 |
| 実験実習費 | | | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 25,000 | 100,000 |
| 諸会費 | 学友会入会金等 ＊ | | 3,430 | - | - | - | 3,430 |
| | 学友会費 | | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 2,000 | 8,000 |
| | 後援会入会金 | | 5,000 | - | - | - | 5,000 |
| | 後援会費 | | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 4,000 | 16,000 |
| | 卒業記念品費 | | - | - | 19,500 | - | 19,500 |
| | 校友会費 | | - | - | 15,000 | 15,000 | 30,000 |
| 合計 | | | 886,430 | 678,000 | 712,500 | 693,000 | 2,969,930 |
| 年間合計 | | | 1,564,430 | | 1,405,500 | | |

＊ 学友会入会金１,０００円と保険料２,４３０円（２年間分）の合計。

■ **問い合わせ先**

１．入試に関するお問い合わせ

**大阪学院大学　入試広報課**

TEL：06-6381-8434（代表）　E-mail：adoffice@ogu.ac.jp（入試担当）

月曜日～土曜日（祝日を除く）：９時００分～１７時００分

＊　ご意見・お問い合わせ内容等の正確な把握等のために、通話を録音させていただきます。

＊　インターネット出願の入力方法については入試情報サイト「インターネット出願登録」にある「インターネット出願マニュアル」で操作方法を解説しています（Ａ４用紙３０枚程）。必要な場合はダウンロードしてください。

２．インターネット出願の画面操作に関するお問い合わせ

**志願受付操作サポート窓口**

TEL：0120-752-257

お問い合わせ受付期間：　インターネット出願期間のみ利用できます。

毎日：９時００分～２０時００分

＊　公衆電話からは利用できません。

＊　ご意見・お問い合わせ内容等の正確な把握等のために、通話を録音させていただきます。

■ 小論文の内容・キーワード

A日程

| 学　部 | 内　　容 | キーワード |
|---|---|---|
| 商学部 | 企業としては、ただ法令を遵守するだけではなく、社会に貢献し、バランスよく事業を持続させることが肝心である。1960 年代には、慈善事業が中心となっていたが、次第に多国籍企業の活躍するグローバル社会の時代に突入し、80 年代以降、地球環境の課題が注目を浴びるようになる。そして、開発途上国との経済格差が拡大し、貧困・飢餓などの社会疎外を撲滅するために企業間の連携も発展するようになって行く。「グローバル化に人間の顔を」求める動きが国連を中心に進められ、企業の行動原則として、人権、労働、環境に関する提言がなされた。<br>日本には、昔から「三方よし」の商いの精神が根付いており、企業の社会的責任(CSR)について、単に「コスト」の問題ではなく将来への「投資」という意味合が伝統的に了解されて来た。CSR が重要な理由は、会社の評判、従業員・顧客・取引先にとっての魅力、士気と生産性の維持・向上、投資家・銀行からの信頼、行政・マスコミとの良好な関係、などの観点から、決して補助的な活動ではないという事である。社会と企業との長期にわたる持続可能性を高める上で、必要不可欠な事業と化している。CSR には７つの主なテーマがあり、1. ガヴァナンス（組織統治）、2. 人権、3. 労働慣行、4. 環境、5. 公正な事業慣行、6. 消費者問題、7. コミュニティー参画などが柱と考えられる。これらの項目に対応して、リスク管理や差別をなくす対策、職場の安心安全や人材育成、地球環境への配慮、公正な競争の推進、消費者データとプライバシーの保護、地域社会への貢献と開発といった多様な方針と制度作りがますます厳しく求められている。<br>高等教育機関の大学に於いても、企業と同様に、社会的責任を果たす積極的な活動が推進されている。大阪学院大学では、地域社会に根差したどのような取り組みが行われているか、詳しく調べて下さい。 | 法令遵守、「三方よし」、コミュニティー参画、リスク管理、地球環境、労働慣行、プライバシー保護 |
| 経営学部 | 経営のグローバル化に伴い、国際紛争など地政学的リスクへの対応や、地球温暖化防止といった自然環境への対応、為替レート変動などの経済的状況は、企業の製品やサービスの売上、諸資源の調達とそのコストなど、企業経営にも直接・間接に大きな影響を与えます。このような企業を取り巻くさまざまな経営環境のもとで、企業はそれらに対応して生存発展していく努力をしなければなりません。<br>このような状況のもとで、経営品質が高いとされる企業とは、企業が国際的に競争力のある経営構造へ質的転換をはかるため、顧客の視点から経営を見直し、自己革新を通じて顧客の求める価値を創造し続ける組織です。その基本理念として、「顧客本位」で顧客価値を創造すること、他とは異なる「独自能力」をもつこと、社員の一人ひとりの尊厳を守り独創性と知識創造による組織経営のために「社員重視」すること、社会に貢献して社会価値と調和する「社会との調和」ということが重視されます。<br>また顧客が求める製品の品質についても、単に設計上の基準を満たしているという適合品質だけでなく、安全品質、環境品質やその他さまざまな品質の考え方が展開されています。 | 経営のグローバル化、経営品質、顧客本位、独自能力、社員重視、社会との調和、適合品質、安全品質、環境品質 |
| 経済学部 | 経済学は、理論・政策・歴史の３つの面から捉えることができる。<br>経済理論は、ミクロ経済学とマクロ経済学から成る。ミクロ経済学の中核は、市場における需要と供給の作用によって、価格と生産量が決定される価格メカニズムにある。これは社会的余剰を最大化することで資源の最適配分を達成する。マクロ経済学は、国民所得論とも言われ、総需要を構成する消費、投資、政府支出、租税、純輸出によって、国民所得が決定される。その際、限界消費性向が鍵となり、総需要の構成要素の増減による乗数効果が期待される。<br>経済政策は、財政政策と金融政策が主流である。いずれも、マクロ経済学をベースにしている。財政政策では、好不況に応じて、政府支出の増減、増減税を通じて、景気安定を図る。金融政策では、やはり好不況に応じて、貨幣供給量（マネーサプライ）を調整することで景気対策を行う。<br>経済学の歴史では、ある時代と経済学者との関連が重要である。特に、産業革命期のアダム･スミスと世界恐慌期のジョン･メイナード･ケインズがよく知られている。スミスは、ピン製造を例にして、分業による生産性の向上を説き、増加した生産物が労働者階級にまで広く分配される資本主義の経済システムを明らかにした。ケインズは、世界恐慌の時期に、政府が公共事業を中心とした財政政策を行うことで需要を創り出し、景気回復を目指す指針を提示した。<br>経済学は理論･政策･歴史という観点から経済社会の安定を目指すのである。 | ミクロ経済学、マクロ経済学、財政政策、金融政策、産業革命、世界恐慌、アダム･スミス、ケインズ |

A日程

| 学　部 | 内　　容 | キーワード |
|---|---|---|
| 法学部 | 家族は大家族から核家族へ移行し、そして現在では、一人暮らしが増加傾向を示してます。このように家族の変遷が伝えられることが増えてきました。このような社会の変遷の中で、親と子の関係に注目すれば、それぞれに担うべき役割が変化しているという特徴があります。親は子を養い、教育する義務を負います。その親自身も仲違いで離婚に至ってしまうことも多く、父と母の役割を十分に果たすことができなくなってしまうことも多々あるのが現状です。<br>また老親になれば、子から放置されたり、虐待されたりしてしまうことも、見かけられます。孤独死ということもニュースとして伝えられます。<br>このような社会において、現在社会では、親は子に対してどうあるべきか。また子は親に対していかにあるべきかについて、一度考えてください。現代社会が直面しているこのような家族を取り巻く問題を解決するために、今、身の回りに起こっている変化に気づくことが大切です。君たちの身の回りで、今まで常識とされていたことに疑いが持たれ始めています。このようなことに興味を持ち、問題を発見することができますか。これは、何も特に難しいことではありません。まず、身の回りの変化に気づきそれを題材として考えてみるのです。 | 大家族、核家族、離婚と共同親権、育児放棄、親の扶養、親の判断力の低下、孤独死、家族の絆 |
| 外国語学部 | 私たちの英語とのかかわり方はどのようなものだろうか。日本国内での勉強としての英語にはおおまかに次の三つがあるだろう。1）成績としての英語、2）教養としての英語、 3）修業としての英語、である。<br>成績としての英語は進学・昇進のため、教養としての英語は個人の楽しみや趣味としてである。修業としての英語はあまりなじみがないかもしれない。例えば、ネイティブスピーカーの発音の仕方を絶対視し、腹式呼吸から厳しくトレーニングする修業のような指導・学習法である。この他に座学・勉強中心でないものとして、4)留学や、5)実用がある。<br>実際には、上のどれか一つだけに当てはまるというものではないだろう。時とともに変わっていくことも当然ありうる。これら以外の型もあるかもしれない。自分自身を振り返ったり、将来を展望する時、このようなつきあい方のパターンやその推移で考えてみるのもよいかもしれない。 | 英語とのかかわり方、成績としての英語、趣味としての英語、修業としての英語、留学、実用 |
| 国際学部 | 近年、異常気象や大規模な自然災害が世界各地で頻発し、人類は深刻な気候変動問題に直面しています。2023 年の世界の年平均気温は、観測史上最高となり、国際連合のグテーレス事務総長の「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」との発言は、大きな注目を集めました。このまま世界の平均気温の上昇が続けば、農業・漁業生産への影響や感染症リスクの増加など、私たちの生活基盤が大きく揺らぎかねません。<br>地球規模の気候変動問題に対応するため、国連気候変動枠組条約締結国会議（COP）が毎年開催され、具体的な目標や対応策についての協議が行われています。しかし、公害などの経験を経て経済成長を果たした先進国と、現在開発の途上にある国々では、気候変動がもたらす問題や、対応への考え方も異なります。特に、国家規模や経済特性が個々に異なる途上国では、個別の状況に応じた対応が不可欠となっています。<br>国境のない気候変動問題は、人類共通の課題であり、先進国・途上国の区別なく、国際社会が連帯して取り組む必要があります。それと同時に、国家の経済活動は、人々の日常生活や企業活動で成り立っていることから、一人ひとりが地球市民として、気候変動への関心を持ち、環境に配慮した行動を行うことも重要となってきます。 | 気候変動問題、地球温暖化、国連気候変動枠組条約締結国会議（COP）、先進国と途上国、企業、地球市民 |
| 情報学部 | 情報通信技術（ICT）は、過去数十年間で驚異的な進歩を遂げました。ICT の進歩により、人々は常にインターネットにアクセスできるようになり、ビジネスや個人の生活に大きな変化がもたらされました。またビッグデータの解析により、企業や行政機関は傾向やパターンを把握し、意思決定やサービスの最適化に活用することができます。これから大学で情報分野を学修するに当たり、将来の進路をしっかり考えて、今後の情報通信技術の進歩、近未来社会の課題などについて理解を深めてください。 | 情報通信技術、IoT、AI、ビッグデータ、ロボット、デジタル仮想空間、Society 5.0、情報セキュリティ、デジタル格差、デジタル中毒、ネット犯罪、環境問題 |

B日程

| 学　部 | 内　　容 | キーワード |
|---|---|---|
| 商学部 | 新興企業にとって大事なことは、顧客および潜在的な顧客が誰であり、彼らの欲しているものが何かを特定する力である。顧客に必要なものを見定め、理解し、合致させることは、２つの重要な目的を示している。販売を創り出すこと、そして企業の存続の見込みを高めることである。顧客像が明確で、望まれる製品やサービスのイメージが鮮明である程、事業は成功しやすい。例えば、ヴィーガンやベジタリアン向きの商品なら、ターゲットがはっきりしており、ニーズに見合った商品開発が行いやすい。動物性由来の食品や商品を、最初から除外出来るからである。さらに、経営の存続を賭けて、販売を増大させる為には、顧客の需要の変化に敏感である必要がある。顧客が必要とする物、好むサービスの微妙な変化に遅れずについて行く観察眼が不可欠である。アート・ディレクターの佐藤可士和は、企業と社会との「コミュニケーション障害」を指摘し、「生活者の視点からいかに客観的な物事をくみ取れるか」を重視して、「企業の方向性を、しっかりと社会に発信していけるスローガンが必要」と考えている。<br>新興企業が注意すべき点は、主に４つある。価格、品質、選択、利便性である。製品やサービスにいくら掛かるかは、顧客には重要な尺度となる。顧客は公正な値段を求めるのである。安い品物は多くの客を引き付けるが、結局、対価以上に値打ちのある商品やサービスが望まれる。高級店には高級店の、安売り店には安売り店なりの、顧客の想定する妥当な価格帯がある。また、常に一定の水準を維持した商品を販売しなければならない。値段に見合った品質が求められ、それがどれ位の期間利用できるかの予想を顧客は常に立てる。多様なサイズや豊富な種類があり、選択の幅の広さも大事である。多様な客層に十分に対応できるだけの柔軟性が必要とされる。店舗の陳列面積に左右されないｅ-コマースの場合、通常の店舗営業よりも選択肢が多く、ネットの顧客には魅力的に映る。何よりも簡単で手早く面倒臭くないことが重要である。自宅で注文出来て、すぐに配達してくれる商品やサービスであれば、多少の配送料が掛かっても客は気にしない傾向が強い。 | ターゲット、経営の存続、「コミュニケーション障害」、公正な価格、品質、選択、利便性、e-コマース |
| 経営学部 | 経営のグローバル化に伴い、国際紛争など地政学的リスクへの対応や、地球温暖化防止といった自然環境への対応、為替レート変動などの経済的状況は、企業の製品やサービスの売上、諸資源の調達とそのコストなど、企業経営にも直接・間接に大きな影響を与えます。このような企業を取り巻くさまざまな経営環境のもとで、企業はそれらに対応して生存発展していく努力をしなければなりません。<br>このような状況のもとで、経営品質が高いとされる企業とは、企業が国際的に競争力のある経営構造へ質的転換をはかるため、顧客の視点から経営を見直し、自己革新を通じて顧客の求める価値を創造し続ける組織です。その基本理念として、「顧客本位」で顧客価値を創造すること、他とは異なる「独自能力」をもつこと、社員の一人ひとりの尊厳を守り独創性と知識創造による組織経営のために「社員重視」すること、社会に貢献して社会価値と調和する「社会との調和」ということが重視されます。<br>また、顧客が求める製品の品質についても、単に設計上の基準を満たしているという適合品質だけでなく、安全品質、環境品質やその他さまざまな品質の考え方が展開されています。 | 経営のグローバル化、経営品質、顧客本位、独自能力、社員重視、社会との調和、適合品質、安全品質、環境品質 |

B日程

| 学　部 | 内　　容 | キーワード |
|---|---|---|
| 経済学部 | 経済学は、理論・政策・歴史の３つの面から捉えることができる。経済理論は、ミクロ経済学とマクロ経済学から成る。ミクロ経済学の中核は、市場における需要と供給の作用によって、価格と生産量が決定される価格メカニズムにある。これは社会的余剰を最大化することで資源の最適配分を達成する。マクロ経済学は、国民所得論とも言われ、総需要を構成する消費、投資、政府支出、租税、純輸出によって、国民所得が決定される。その際、限界消費性向が鍵となり、総需要の構成要素の増減による乗数効果が期待される。<br>経済政策は、財政政策と金融政策が主流である。いずれも、マクロ経済学をベースにしている。財政政策では、好不況に応じて、政府支出の増減、増減税を通じて、景気安定を図る。金融政策では、やはり好不況に応じて、貨幣供給量（マネーサプライ）を調整することで景気対策を行う。<br>経済学の歴史では、ある時代と経済学者との関連が重要である。特に、産業革命期のアダム･スミスと世界恐慌期のジョン･メイナード･ケインズがよく知られている。スミスは、ピン製造を例にして、分業による生産性の向上を説き、増加した生産物が労働者階級にまで広く分配される資本主義の経済システムを明らかにした。ケインズは、世界恐慌の時期に、政府が公共事業を中心とした財政政策を行うことで需要を創り出し、景気回復を目指す指針を提示した。<br>経済学は理論･政策･歴史という観点から経済社会の安定を目指すのである。 | ミクロ経済学、マクロ経済学、財政政策、金融政策、産業革命、世界恐慌、アダム･スミス、ケインズ |
| 法学部 | 家族は大家族から核家族へ移行し、そして現在では、一人暮らしが増加傾向を示してます。このように家族の変遷が伝えられることが増えてきました。このような社会の変遷の中で、親と子の関係に注目すれば、それぞれに担うべき役割が変化しているという特徴があります。親は子を養い、教育する義務を負います。その親自身も仲違いで離婚に至ってしまうことも多く、父と母の役割を十分に果たすことができなくなってしまうことも多々あるのが現状です。<br>また老親になれば、子から放置されたり、虐待されたりしてしまうことも、見かけられます。孤独死ということもニュースとして伝えられます。<br>このような社会において、現在社会では、親は子に対してどうあるべきか。また子は親に対していかにあるべきかについて、一度考えてください。現代社会が直面しているこのような家族を取り巻く問題を解決するために、今、身の回りに起こっている変化に気づくことが大切です。君たちの身の回りで、今まで常識とされていたことに疑いが持たれ始めています。このようなことに興味を持ち、問題を発見することができますか。これは、何も特に難しいことではありません。まず、身の回りの変化に気づきそれを題材として考えてみるのです。 | 大家族、核家族、離婚と共同親権、育児放棄、親の扶養、親の判断力の低下、孤独死、家族の絆 |
| 外国語学部 | ChatGPT 出現以降の英語とのかかわり方はどうなるだろうか。これまでの日本人の英語との関わり方には主に次の五つがある。1)成績としての英語、2）教養としての英語、 3）修業としての英語、4）留学での英語、5）実用としての英語である。<br>五つの型について少し考えてみよう。学習指導要領では１と５を両立・融合させようとしているが、実際の現場では難しい問題がある。３の側面も授業の中ではあるだろう。２は英語を英語として楽しむということで、映画の英語音声に慣れたり、英語で読み物を楽しんだり、仲間や外国人との英会話に喜びを感じることなどである。２こそが生涯にわたる英語学習のかなめかもしれない。1, 4, 5 は２を伴ったり、２に移行したりするかもしれない。<br>自動翻訳につぐ ChatGPT の普及は 1～5 のすべてに大きな影響を及ぼす可能性がある。今後なくなる職業として以前から語学教師が挙げられてきたが、まさに言語生成 AI こそが英語教育の根幹を揺るがすだろう、英語は入試どころか科目としても消える日が来ると予想する者もある、その時、楽しみとしての英語だけは残るのだろうか、それもまた失われていくのだろうか。また一方で、まだ見ぬ新たな可能性が開かれていくのかもしれない。 | 英語とのかかわり方、成績としての英語、趣味としての英語、修業としての英語、留学、実用、自動翻訳、ChatGPT |

B日程

| 学　部 | 内　　容 | キーワード |
|---|---|---|
| 国際学部 | 日本では少子高齢化が急速に進み、人口の減少局面を迎えています。その一方で、国内の外国人人口は一貫して増加し、2020 年の国勢調査では約 275 万人、総人口の 2.2%を占め、過去最高となりました。留学・就労のために来日し、生活する外国人の数やその割合は今後も増加し、また多国籍化していくことが予想されています。<br>このように日本の内なる国際化が進むなか、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会でともに生活できるよう、さまざまな多文化共生の取り組みが進められています。しかしながら、私たちの日々の生活の一部でもある医療や福祉、教育、地域活動などの場で、異なる言語や文化、習慣の違いに配慮した情報やサービスの提供が十分に行われているかというと、必ずしもそうとはいえない現状があります。<br>グローバル社会に生きる私たちにとって、日本人、外国人といった違いにかかわらず、誰もが安心して生活できる社会を私たち自身がつくっていくことが重要です。そのためには、一人ひとりが、異文化や異なる価値観を理解し、受容するといった異文化コミュニケーションを積極的に行っていくことが求められます。 | 少子高齢化、人口減少、外国人人口、国籍・民族・文化、内なる国際化、多文化共生、異文化コミュニケーション |
| 情報学部 | 近年の AI 技術の急速な進歩において、ディープラーニングの発展が大きな役割を果たしています。ディープラーニングにより、高度なパターン認識や予測が可能になり、テキストや音声などの自然言語データを理解し、処理する自然言語処理技術の性能が飛躍的に向上し、機械翻訳、文書要約、感情分析などが実用化されています。またコンピュータビジョン分野では高い精度の物体検出、画像分類、顔認識が実用化されています。さらに生成 AI を用いて、文章や音声、画像などのコンテンツ作成、プログラムコードの作成など、様々なものが生成できるようになってきましたが、一方でいくつかの社会的な課題も生じています。 | AI、ディープラーニング、生成 AI、プライバシー、著作権、フェイク情報、AI と人間との共生 |

■ よくある質問

Ｑ１．出願登録したのですが、入学検定料を納付するのを忘れていました。

Ａ１．入学検定料の納付は、インターネット出願で登録した日の翌日の２３時５９分（最終日は登録した当日の２３時５９分）までです。その時間を過ぎると支払いができなくなります。その場合は、出願期間内であれば再度登録し、入学検定料を納付してください。
ただし、出願期間を過ぎた場合は納付できません。

Ｑ２．出願登録し、入学検定料も納付したのですが、出願書類の郵送を忘れていました。

Ａ２．至急、郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送してください（出願最終日の消印有効）。出願期間を過ぎている場合は、入試広報課までご連絡ください。

Ｑ３．名前に旧漢字などを使えますか？

Ａ３．氏名等に使用できる漢字の表記はJIS第２水準（例：髙→高、斎→斉、邊・邉→辺など）までです。
JIS第２水準にない場合は、別の表記に換えることがありますのでご了承ください。

Ｑ４．出願にはスマートフォンまたはタブレットは使えますか？

Ａ4．使用できます。ただし、志願票など郵送が必要な書類（５ページを参照）があります。スマートフォンまたはタブレットから登録した後、プリンターが繋がったパソコンから「マイページ」にログイン、「出願確認」から登録内容の確認後、印刷を行ってください。

Ｑ５．パソコン（インターネット環境）がありません。

Ａ５．所属していた学校等で利用できないかご相談ください。それでも利用が難しい場合は、至急、入試広報課までご連絡ください。なお、出願期間の後半では対応できない場合があります。

Ｑ６．出願登録後に「志願票」と「宛名ラベル」の「印刷ページ」のボタンを押したのですが、何も表示されません。

Ａ６．利用しているブラウザによっては画面に表示されない場合があります。
画面の左下に「shigan.pdf」「atena.pdf」という表示が出ている場合は、表示をクリックすると画面に表示されます。また、画面の左下の表示がない場合はパソコンの「ダウンロード」ファイルに格納されています。
画面にあるPCアイコンをクリックするか、エクスプローラを使って「ダウンロード」ファイルを開くと「shigan.pdf」と「atena.pdf」があります。

- 志願票 ＝ shigan.pdf　　宛名ラベル ＝ atena.pdf
- 見つからない場合は、『「志願票」「宛名ラベル」が印刷できない場合』（８ページ）を参照してください。

Ｑ７．受験票を iPhone にダウンロードしましたが、画面に何も表示されません。

Ａ７．画面下部にダウンロードボタンが表示されている場合、ボタンを押してダウンロードしてください。
ダウンロードした受験票は、Adobe Acrobat Readerで表示してください。Adobe Acrobat Readerをお持ちでない場合はApp Storeからダウンロード（無料）して設定してください。
iPhoneを使用している場合、ブラウザは Safari を利用ください。
モバイル環境から印刷ができない場合は、パソコン等を使用して必ず印刷してください。

■ **試験会場案内**

＊　受験票を確認し、間違いのないように来場してください。

＊　試験会場（大阪学院大学・大阪学院大学短期大学部）の下見は可能ですが、教室内に立ち入ることはできません。

＊　駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してください。

＊　学舎建設工事に伴う車両の出入りがある箇所については、係員の指示に従ってください。
駐輪場は閉鎖していますので、公共交通機関をご利用ください。

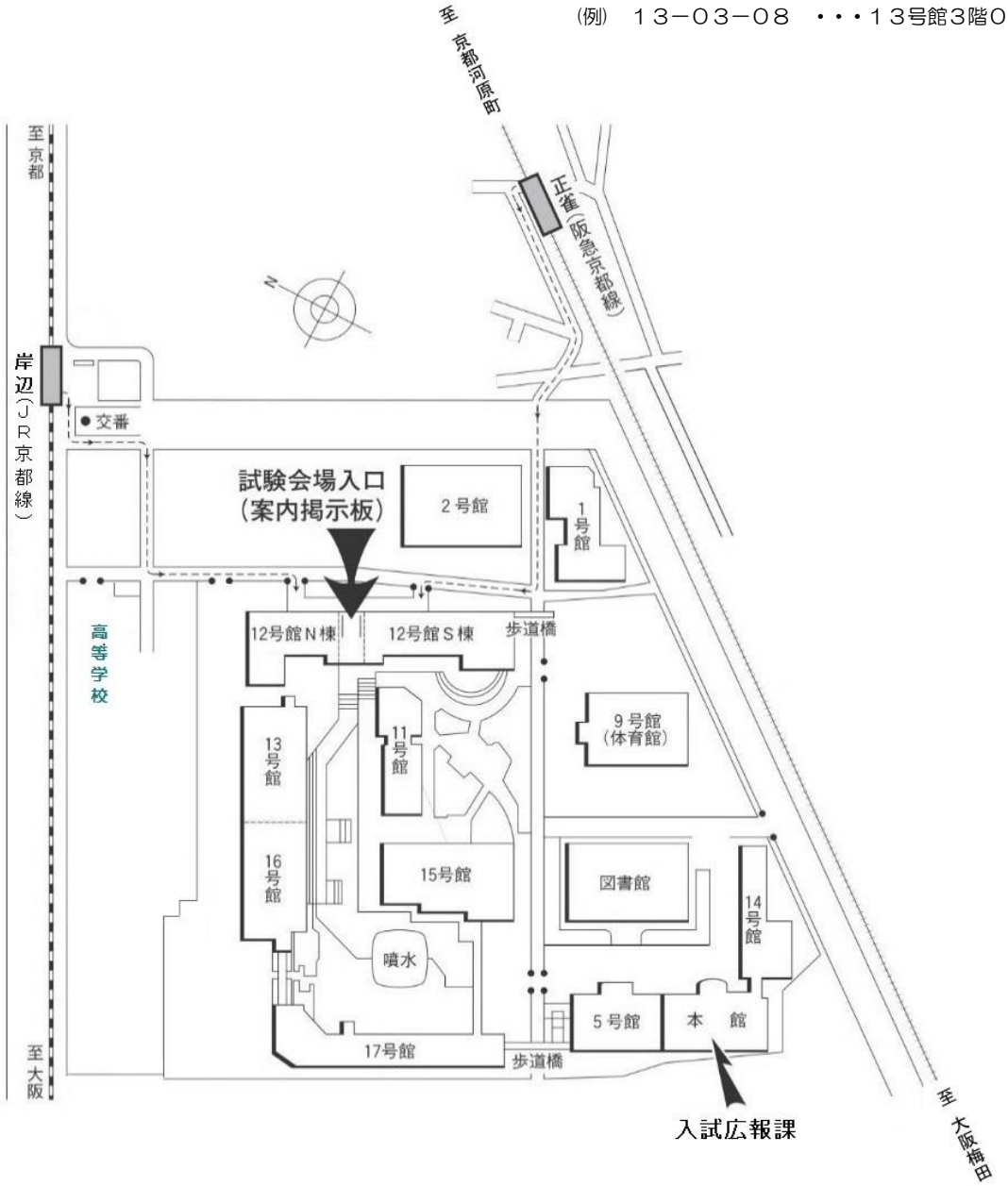
**試験会場（大阪学院大学）**

大阪府吹田市岸部南二丁目 36 番１号

＊　JR 京都線「岸辺」駅南口から徒歩５分

＊　阪急京都線「正雀」駅西口から徒歩５分

● 試験室の表示方法は次のとおりです。
（例）　１３－０３－０８　・・・１３号館３階０８教室




大　阪　学　院　大　学　入試広報課
〒564-8511　大阪府吹田市岸部南二丁目 36 番１号　TEL：06－6381－8434（代表）

2024/08/01

# ２０２５年度 志望理由書

**編入学**

| 入試広報課記入欄 | 1 |
|---|---|

（西暦）　　年　　月　　日

| 氏　　名 | |
|---|---|
| 志望学部・学科 | |

大阪学院大学の学部・学科を選んだ理由と入学後の目標を１，０００字以内で表現してください。

100

200

300

400

500

［備　考］　この欄は記入しないでください。

＊　**２枚目も記入してください。**

# ２０２５年度 志望理由書

**編入学**

| 入試広報課記入欄 | 2 |
|---|---|

| 氏　　名 | |
|---|---|
| 志望学部・学科 | |

600

700

800

900

1000

［備　考］　この欄は記入しないでください。

（西暦）　　年　　月　　日

# ２０２５年度 単位認定申請書

黒色のボールペンで必要事項を記入してください。

| | |
|---|---|
| 氏　　名 | |

| | |
|---|---|
| 学　校　名 | |
| 学部・学科 | |
| コース・専攻 | |
| 卒 業 月 日 | （西暦）　　年　　月 卒業（修了）見込 |

教職課程を受講する場合、希望の有無に「✔」を記入してください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 教職課程の受講 | □ | 希望する | □ | 希望しない |

＊ 希望する場合は「学力に関する証明書」が「シラバス（講義要項）」と併せて必要です。

編入を志願している学部・学科に「✔」を記入してください。

| チェック | 学部・学科 |
|---|---|
| □ | 商学部　商学科 |
| □ | 経営学部　経営学科 |
| □ | 経営学部　ホスピタリティ経営学科 |
| □ | 経済学部　経済学科 |
| □ | 法学部　法学科 |
| □ | 外国語学部　英語学科 |
| □ | 国際学部　国際学科 |
| □ | 情報学部　情報学科 |

大阪学院大学